

会 議 録

【会議名称】

令和5年度第3回坂戸市地域福祉計画審議会

【開催日時】

令和6年3月19日（火）午後2時00分から午後3時40分

【場 所】

坂戸市役所 303・304会議室

【出席者】

出席11名、欠席4名

【議 題】

- （１） 坂戸市地域福祉計画（第4期）の策定について
- （２） その他

【配付資料】

- 資料1 第1節 統計データから見る坂戸市の現状について
- 資料2 第2節 現計画施策の達成状況について
- 資料3 市民参加（高齢者支え合い会議、地域ミーティング・主任児童委員連絡会）
- 資料4 坂戸市の現状と課題について
- 資料5 骨子（案）
- 資料6 体系図（案）
- 資料7 重層的支援体制整備事業実施計画 概要
- 資料8 地域福祉計画と関連計画のかかわり
- 資料9 計画策定スケジュール

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 質 問 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開会
会 長	2 挨拶

事務局 事務局 会 長 委 員 会 長 委 員 事務局（社協） 委 員 事務局 委 員 事務局 委 員 事務局 委 員	3 議題 (1) 坂戸市地域福祉計画（第4期）の策定について 資料1～3について説明。 資料4～8について説明。 ご意見、ご質問をお願いしたい。 資料6、地域福祉計画第4期の体系図について、「ボランティア活動を活発に行えるようにします」の箇所を「地域福祉活動に参加しやすい環境をつくります」という文言に変更ということで、ボランティア活動に限らず、地域の民生委員さんとか、区長さんとか、福祉関係の人たちなど、幅広く含む事ができ、良いと思う。 事務局ありがとうございます。他には何か。 資料1に、ふれあい・いきいきサロンとあるが、ここの利用者数は年間延べ人数か。 お見込みのとおり。 資料2の第3期には、未達成等がたくさんあるが、この内容が坂戸市の現状と課題の現状のところにリンクしていないように見える。 それと、資料6の3、支え合いの仕組みづくり、2で地域福祉活動に参加しやすい環境をつくりますとあるが、第3期の話では、ボランティア活動が活発に行なえるという言葉を使っている。参加しやすいは、トーンダウンしていると思う。 あと、福祉教育の充実は、あっても非常にいいと思う。 以上。 まず、1点目にいただいたご意見で、資料2の評価結果と資料4に抽出されている課題がリンクしないのではないかとということで、例えばどの辺りか。 書き方の話だと思うが、箇条書きにしたほうがいいのか。地域活動、住民活動について（集いの1の（2））がD（未実施）になっている。それついて、達成するにはどうしたらいいか。全体的にそういう文のほうがいいのかと思う。 先ほどの資料2だと、1. コミュニティの活性化の（2）集いの場の充実のところのおもちゃの貸出しが未実施ということになっていて、例えばこちらをそのまま課題として出したほうがわかりやすいのではないかとのご意見か。 解決するにはどうしたらいいのか分析した方が良くと思う。 資料2の表の形だが、この上段の市の取組の評価結果の部分については、毎年審議会の資料として、各課から各種ある事業をまとめ
---	--

	たものをご提供させていただいている。それは、目標が達成できているかどうかという視点のものにもなっている。 一方で、その下の評価結果詳細については、今回のこちらの地域福祉計画の数値目標がかいつまんであって、それを全て出している形ということで、まずその意味だけ先にご説明を差し上げたいと思う。 上の点については、先ほど申し上げたとおり、例えばおもちゃの貸出しに当たるわけだが、これについては、例えば7年度の審議会はこちらの上段全ての項目の最終結果的をお出しできると思う。その際に、これを今後どう解決したらいいかというような部分も併せて、福祉総務課から担当課のほうに意見を求めて、審議会にご報告をさせていただきたいと思う。 一方、資料4については、今回の地域福祉計画の大枠をつくっていくものになってくるので、こちらで考えている考え方としては、大きな視点での現状と課題。もちろん委員さんがおっしゃられたおもちゃの貸出しも、狭い範囲の中では含まれてくるというのは結果的にあるが、表現としては大きな課題を出していきたいので、こういった表現にさせていただいている。そういった経緯である。
委 員	全体的に、CとDを抽出したほうがよいのではないかと。 社会福祉協議会と福祉総務課でCとDがトータル4対5、これを全面的に出して、第4期ではこれがメインで入ってくると思う。そのほかに新しいものが第4期は入ってくると思うので、まず、これをどうするかと潰していかないと第4期の課題も見えないかと。
事務局	こちらの資料は、現計画の採点的な意味合いがあるので、これを出させていただいて、その上で現状と課題というところとなっている。おっしゃっていることは了解した。 資料6については、「活発に」から「参加しやすい」というのが少しトーンダウンしているのではないかというご意見を頂戴したかと思う。この辺りは、表現を検討したいと思う。
会 長 委 員	先ほど手を挙げられたので。どうぞ。 資料2の関係で、下側の表の目標数値というところの(2)、ページは3ページ。(2)の法人貢献事業の実施ということで、平成30年度は1件、令和5年度は3件という結果になった。もっと増えているかもしれないし、それはわからないが、相当な努力をなさっていただいて、令和6年は16件と目標が掲げられているが、少し大きな数字ではないかなという気がした。目標値としてどうかと思う。
事務局	こちらの目標値だが、こちらの第3期の計画に各課から目標値をどのくらいにしましょうかという照会をかけた上で、提出されたものとなる。詳細を社会福祉協議会から説明をお願いします。

事務局（社協）	こちらの法人貢献については、平成 30 年に法人貢献を社協で始めて、当初この計画ができるときには目標値 16 件ということで出させていただいているが、実際に始まってみて、思ったほど受任の件数が進まなかったというところである。実際まだ始まっていない段階だったので、目標を高くは掲げすぎたのかなというところである。この辺はまた次年度の計画では精査していきたいと思う。
会 長	では、他に。
委 員	身近なところの坂戸市の現状と課題というところで、1 の地域のつながりと交流についてだが、坂戸市の現状もこのまま推移すると、現在住んでいる人も1つ2つ年を重ねて、ますます高齢化も進む。それと、この1 の地域のつながり、つながりはわかるが、交流については坂戸市だけでは解決できない。これは政治の問題だと思うが、坂戸市が魅力あるまちづくりを進める必要がある。 よくテレビを見ると、都市から農村へ移住、農村から都市へ移住、埼玉県のカノ市とか所沢市とかはなかなか人気のまちで、所沢市のまちでも中心市街地のパルコが撤退したら寂しくなって、今度は商工会でも商店街の育成化を図って、人が移住するようにというように、やっぱり商工業が栄えないとまちも衰えてしまう。 それから、外国の方の労働に頼っているところも多い。外国人の働く方も大事にしたい。私も商売をしていると、外国の方が大体 100 人のうち 3 人はいる。大体ベトナムの方と中国の方が多い。 人がいればいろいろな意見が出てくる。少ない人数だといい知恵が出ないです。だからやっぱり人は宝で、いろいろ人がいて、いろいろ意見をもらえばよい。 自分のところは、駅に近いところだが、高齢化で 8 軒の 2 軒が空き家で、自治会の班長をする人が 7 軒のうち 2 人しかいない。あとはみんな 85 歳以上。だから今度 1 区の総会だが、私のところは班長さんがとうとう私ともう 1 人で 2 人しかいない。前は端から 1 年ごとに班長をやったが、みんながこの地区もそうになっている。高齢化ということはもうわかっているが、何とか若い方が坂戸市に住んで、いろいろの政治活動のことやらをいろいろ働きかけてもらって、人が集まるようにして。これはあくまでも政治の問題ですが、そういうことを希望しているところ。商工会のほうは商店会ということで、やっぱり人が集まらないとお祭りの露天商と同じで、人がいなければやっぱり仕事にもならないし、大型店ですらいつ撤退するかもわからないし、買物難民ということが起きる可能性もある。 自営業者がたくさんいれば、防災のほうでも協力できるが、みんなネクタイを締めて、朝早く行って帰りは遅く、昼間に人はいない。やっぱり商工会でも後継者がいない人も多いし、若い方が起業して、

会 長
委 員

まちを明るくするという努力を商工会のほうでも考えていかなければならない。いわゆる若い方がカフェを開いたり、起業して自分で商売をするとか、商工会のほうでは補助事業とかもあるので、そういった明るい未来というか、建設的な意見を戦わせて、商工業、それから住民、暮らし、全てがよくなるような政治家の皆さんの努力が必要だと思う。あと社会福祉協議会とか。つくづく最近そう思う。

ありがとうございます。ほかにご意見は。

委 員

資料3の子育て分野の意見の中で幾つかこども食堂について意見が述べられていると思うが、現状と課題の資料4にはどこにも入っていない。どこにでも入れられると思う。こども食堂といっても、今は子どもだけではなく、地域をよりどころとして活動されているところはとても多いので、こちらをどんな形でもいいので反映させていただけるといいかなと思う。

先ほどの意見を聞き、私も同感している。第3期も参加させていただいて、市のご努力でかなりよい計画を出していますけれども、今度は第4期。人口がますます減る。大学の入学者数も減ってしまう。坂戸市だけではないが、人口が減っていく中で、地域福祉計画の視点からどうやってまちづくりを活発化するとか、もうちょっと明るい将来を見せて、我々の計画書に書いたほうがよいのではないかなという気持ちがある。

先ほどのご説明を聞くと、確かに明るい未来の青写真というか、そういうものが見えていないのが若干気になる。先ほどのお話もそうだが、やっぱり子どもの話は全くでていなくて、私はもしかしたらこの委員会であまり子育てとか育児のことを言うてはいけないのかなと。

ただ、一方では子育てから高齢者まで全部なので、少子化対策とかは、国もやっているが、お金を出すのはあまり効果が出ないと思う。私は、財政学とか社会保障をやっているが、やっぱりどう考えても育児・保育施設をたくさんつくるべきだと思う。若い夫婦は負担感をすごく感じている。その負担は、経済的な負担と時間的な負担の両方を考えるべきだと思う。やっぱり若い夫婦に、もう少しゆったりした時間を与えるためには、預ける時間を長くして、施設を増やして、そういう保育政策に関わること。これはこの計画には書けないかもしれないけれども、その要望をちょっと出したらどうかなと思ったりする。

あとは、要するに人は減る、高齢化は進み、高齢者は増える、これはもう誰でもわかる事実。それを守りの姿勢のような感じでこうしたほうがいいとかではなく、少し積極的にそういうビジョンを見

	せたらどうかかなと思ったりする。 外国人もそう。今の資料を見て、携帯で計算してみたが、外国人は3,090人、それで坂戸市の令和5年は9万9,565人、3.1%となっている。ネットで調べたら、いつのデータかわからないけれど、坂戸市は2.何%で県内において17位。3.1%であれば、県内でも5、6位になる。北坂戸にある日本語学校はすごく繁盛していて、城西大学の学生も外国人の学生が年々増えている。だけど、そういう増える外国人をどういうふうに地域に取り込むか。空き家なども、きれいにして6万でも7万でもにして、坂戸市に落としてもらいたい、というのが私の考え。もうちょっと明るいビジョンがあったらどうかかなと思う。 まず、こども食堂の件。ご指摘のとおり、坂戸市の現状と課題というところには見えにくいというか、記載がないような状況にあると。 また、お話しいただいたとおり、やはり子どものこと、その辺りは、もちろん個別の計画があるので、詳細はそちらの計画には入ってきていると思うが、そこ入り口として、ある意味、地域福祉計画は子どもの計画とか各分野の計画をつなぎ合わせるような計画かなというところもあるので、その辺りはどういった表現ができるか、検討させてもらいたいと思う。 あと、人は宝であること、自営業の方がいらっしゃった場合、防災につながるなんていう商工会さんならではの視点かなと、大変感謝する。 あと、保育の時間を長く、保護者への負担を支援金だけではなく、時間軸の負担軽減という話があったが、妊娠期より切れ目のない支援のため、令和6年度よりこども家庭センターが開設予定で、病児保育の関係の無償化などが実施される予定である。 また、子どもの新たな計画は当計画同様、今年が1年目、来年は2年目で、2年間で策定をするので、そのあたりに、こちらの地域福祉計画審議会からこういった意見を頂戴いたしましたということで関係課にもお伝えして、いただいた意見は反映をさせていきたいと思う。
委 員	資料4の2ページ目の(4)。安全・安心に生活できる環境づくりについての中でも書いてはあるが、防災関係、今年の元日に能登半島で大きな地震が起きて、今も大変な状況だと思うが、坂戸市は幸いにしてずっと私が住んでいる数十年の間、大きな災害もなく過ごしている。が、これはいつ起こるか予測ができない。そういうことで、災害に対する関心をもっと皆さんが持てるような施策を第4期では入れていってもらえればいいのかと。

事務局	特にやはり人が減ってくるし、高齢化は進んでくる。そういう中で大きな災害が起きると、生活どころではなくなってくる。そのためにはある程度大胆な施策を打って、予算もやはりそれなりに使って、何とかその対応ができるようにしていただきたいと思う。 今、坂戸市には105、6の自主防災会があると思うが、コロナのせいもあったが、今、災害に対するいろんな対応が生きていないのが現状だと思う。そういうものも含めて、第4期ではぜひお願いしたい。 おっしゃるとおり、雨はある程度予測がつくが、地震に関しては、いつ起こるかわからないような災害ということで、誠におっしゃるとおりだと思う。 災害に対する新たな施策というお話であるが、一応、現在の計画の中では、避難行動要支援者の支援に重きを置いて、記載をさせていただいているところであり、坂戸市における防災に関する計画については、ご存じのとおり地域防災計画であったり、そういったもともとの防災分野のかなり大きい計画があるので、福祉の視点から、その辺りとの整合をとりながらになろうかと思う。 ただ、防災は、今日お配りした資料の中の課題の1ページの地域のつながりと交流についての1つ目の丸の中にも記載のあるとおり、こちらは防災、災害時の共助、あと防犯もそうだが、これは全ての方に必要なものになる。なので、これを1つのつなぎ役として、地域のつながりを強化していくとか、あるいは新たに再構築していくのが肝要ではないかなと思っている。そういった視点でもどこまで入れられるかというのは検討の余地があるが、引き続き防災の関係はこちらの計画の中にも含ませていただく方向で考えたいと思う。
委 員	資料3で気になることがありましたのでお伝えする。ページ数は2と3、子育てと地域というところになるが、自治会の加入率が低くなってきているということと、子育てのほうで、仕事を持っているお母さんが多いので、こども会が廃止になったとか、関係性も希薄になってくると書いてある。 質問ではないが、1年間、PTA会長を預かり、PTA連合会の活動にも参加したが、PTA連合会は、坂戸市の小中学校全部の18校で構成されているが、来年度から1校抜けることが決まった。理由としては、保護者の負担が大きいので、もうPTAの活動に協力できません、参加できませんという声が、とある小学校で大きくなって、その本部の方が、では廃止に向けて動きましょと、そういうことになった。基本的にPTA組織というものを廃止して、PTA連合会からも抜けてしまうという事になったそう。

その現実をひもといていくと、やっぱり保護者の負担である。ここに書いてあるように、夫婦ともにフルタイムで働いている。土曜日、日曜日に関しては、子どもの用で時間を使わなければいけない。自治会活動も極力出なければいけない。小学校のPTAもそれに重なってくる。下の子がいれば保育園、上の子がいれば中学校、それ以上という形になってくる。それをフルタイムで働いているお父さん、お母さん2人で全て担っていくのはとても大変だという声を方々から私は聞かされ続けてきた。

結果的に、もう自分たちの時間が取れない、取りたくても作れないというところまで追い込まれてしまっていて、その他の活動に参加できないというふうになってしまった方もいる。

一方で、PTAの活動を無くしてしまおうという小学校が出たということで、じゃあ私たちも無くしてしまえばいいだろうというような議論も出てきてしまった。長く続けてきた活動が大変だからという理由だけで廃止になっていくという流れができつつある。

その状況を現場で見えて、各家庭それぞれあると思うが、自治会の加入率が上がらない問題とかPTAの活動に理解が深まっていかないというところにここで気づいて、このためにじゃあどうしようかと、資料4で課題という言葉で挙がっていたが、市のほうでたくさん集まれる、交流できるきっかけをつくっていただいても、そこに実際子育て世代の人たちが参加できるかどうかは、とても難しいという現実をお伝えしようかなと思い、お時間をいただいた。

現場の意見を申し上げるのはどうかと思ったが、参考程度に知っていただけたらと思う。

PTAのお立場からのお話は、大変神妙に聞かせていただいた。おっしゃるとおりの部分はあるが、保護者さんによって、それでも続けたいという方の温度差もあるのかなと。お忙しい方と、何とか自分の時間を削ってでもそういうことをやりたいという社会貢献的な気持ちなのか申し得ませんが、そういったところがあるかなと思う。

それで、社会教育課がPTAの所管課になるが、社会教育課にPTAの存続問題について少し聞いたことがあり、PTAの存続がなかなか難しい学校もあるというような現状は、社会教育課のほうでも認識はしている。

一例を挙げると、PTAはなかなか難しくなって、先ほどおっしゃられた廃止的なものになった場合、既にご存じかもしれないが、学校応援団という形で活動していくといった話もあろうかなと思う。

PTAについても、全国津々浦々で近頃はいろいろな報道がなされているのは、私も個人的には存じ上げているが、任意性の部分も

あるので、これは時代に応じて形は変わり得るのかなという感じはする。

その中で、参加の強制ではなくて参加がしやすい、例えばこども食堂の参加は、強制というよりはお時間がある方、利用しやすい方が来ていただいて、そこに集まったところで人と人のつながりができたらとかいう実際の運営という話ではなくて、そこを利用する立場の参加もあろうかと思う。そういった方が、少し生活が落ち着いた段階で、運営側、実際に地域の支えのほうになっていただくというような場合も考えられるかなと思うので、その辺りも考えたいと思う。

計画について、ここにこう生かせるかなというのは、ちょっと今は申し上げにくいところがあるが、いただいたお話については、関係課にも審議会の委員さんからいただいた意見ということでお伝えをしたいと思います。

ご意見が満遍なく出そろったかと思うが、ほかにご意見は。（「なし」の声あり）

（２）その他
なし。

４ 閉会